

ニューモシスチス肺炎画像所見 非特異的GGO

濃淡のむらはあるが、それは区域とも小葉とも関係を持たない



ニューモシスチス肺炎 *Pneumocystis pneumonia* (PCP) は、*Pneumocystis jirovecii* による肺炎である。*Pneumocystis* 自体は組織障害性はなく、組織障害は主に宿主側の免疫反応（炎症）によって起こるとの説が有力である。大別すると、HIVに伴う PCP と、Non-HIV（血液疾患、固形がん、臓器移植後、膠原病の免疫抑制剤使用中、その他免疫低下状態）の PCP になる。

HIVに伴う PCP は、進行緩徐（1~2 ヶ月）、菌量が多く、菌検出が容易、CD4 リンパ球の低下が必発、予後は比較的良好である。一方、Non-HIVに伴う PCP では、進行急速（1週間前後）、菌量が少なく、菌検出が困難、免疫指標の低下は必発でない、より重症で予後は悪い可能性がある。